磐城新聞　四日夕刊

休刊　大祭日　第一・第三日曜
定價　一部二錢　郵税　一ケ月六十錢　十五錢
廣告料　壹行六十錢指定廿錢増
發行兼編輯印刷人　蓋沼龍輔
發行所　福島縣平町田町十六番地　磐城新聞社　電話五六四番

思ひ出草（44）
古いスクラップブックから
哲

上川丸船中（大正八年秋稿再び樺太への一齣）

『良いよ、僅かばかり持つてゐるから簡單にやつて行かう』

彼の性癖は大々へ上陸したからには大丈夫と思つて殘り少い金を處分して終はふとしたのである。

『そうか、それぢや極ぐ低級な處へ行かう、狸小路でない方が良いよ』

兩人伴れ立つて坂を上つた。醉眼朦朧とした殊に視力の甚だ怪しい彼の眼には處々變つた街の光景などは左程氣がつかなかつた。

上り框の板を踏み鳴らして兩人はとある家へはいつた。まだ宵のうちから良い鳥御座んと待ち構へて居たのであらう。女達は一齊に愛嬌良く兩人を迎へるのであつた。

○

可なり醉つてゐた兩人はその上更に何本かの熱いのをやつた。

『こゝの女將は○○の家內だよ』

谷は兩人が襖に居、た其地の○○の家內が此所の經營者である事を彼に告げた

『あゝそうかあの圓顏な』

『そうだよ』

兩人は久し振りに露骨な會話を續けた、女等は奔放な兩人の會話にすつかり煙に捲かれて終つて呆然兩人の盃のからになるのを監視しては折々酒を酌いでゐた三人の女は面白くもない兩人の座敷から逃げて一人となつた。

兩人は程無くそこを出て以前の宿へ歸つた。座敷には二つの蓐が敷かれてあつたが谷は外に泊る處があると云つて出て行つた。或る程度迄醉ふと猛虎の樣に歩き廻るのが彼の癖である、その時も『またお出かけですか』と云ふ宿の人の言葉を聞き流して戶外へ飛び出した彼は寶亭へ行つた。可愛いらしい十位のお酌を對手に罪の無い話をし乍ら何本かの酒を飮んだ。翌くる朝目をさまして四邊を見廻すと矢張りそこの二階であつたので前夜の脫線が甚だしい程度のものでなかつた事を喜んだ。

『おいどうした』

谷は彼の寢てゐる處へ來た。

『ゆうべはあの儘寢たか』

彼の歩るき廻る癖を知つてゐる谷は眞つ先にそれを訊くのであつた。

『寶亭へ行つてライスカレーを食べて來た。』

彼の答へに谷は『やるもんだな』と云つて苦笑するのであつた。

『今日豊原へ行くか』

汽車の時間が切迫してゐるので谷は立つた儘彼に問ふた。

『いゝや今日行かない』

彼は別に理由があると云ふ譯でもないが恁う答へるのであつた。

『そうかどうせ僕もまた明日來るから』

と谷は歸つてしまつた。

床の中で霎時もぢ／＼してゐたが宿醉の時杯は飛び起きて冷たい水で顏でも洗つた方が却つて良いだらうと太陽の高々上つた頃、つと起き出した。（此項終り）

草屋の晝（童謠詩）
市川健次

秋日和に
みんな稻刈り
しづかな
草屋のひるげ時

赤とんぼ
すいすいとんで
干し籾の
かはくにほひよ

かへり咲きの櫻
ちらほら
ま晝の
よかぜ吹く。

今月今日
（令月今日）—

△初めて郵便法を定む（明治三）

藤原道長薨す　藤原氏の中に於て最も權勢を張つた人で我が歷史上斯の如きは他に類例無い平清盛と雖も之れに如かず此の時代才女多く紫式部、清少納言、和泉式部、赤染衞門、伊勢大輔何れも皆後宮に奉仕せる人々である（萬壽四）京都大極殿燒失（慶長七）伯林前王宮前日本學院開館式（大正一五）

ラヂオ番組
五日（金）

東京　JOAK

▽午前七時ラヂオ體操（大阪より中繼）▽九時氣象通報▽九時十分日用品値段、料理献立（小松菜の初霜煮）▽十時三十分家庭講座、[illegible]三澤豊[illegible]聞聽台第四十八回[illegible]午前零時[illegible]午後○時五分長唄（勸進帳附延年の舞瀧流し）▽○時四十分ニュース▽二時海外事情講座（南洋視察談）坂本一角▽三時四十分氣象通報▽四時ニュース▽五時四十五分職業紹介事項▽六時（子供の時間）お話グラ・ダーテキスト一〇ページ、陸軍中將長岡外史[illegible]三十分[illegible]等科（二九）岡倉由三郎▽七時ニュース▽七時二十五分講演（斷層と地震）理學博士脇水鐵五郎　物眞似、吹き寄せ江戸家猫八　天吹と小唄一、天吹（てんぷく）あの山、ロ、高音、ハ、つぐね　ニ、調子調べホ、仙平さん、黒江彥次二、小唄　年の瀨、雪のあした、お前と一生、晩に忍はゞ、木枯、われん[illegible]住家▽九時四十分時報、ニュース、氣象通報

仙臺　JOHK

午前十時二十分家庭講座（母の理想）石龍文童▽午後○時四十分ニュース氣象通報、告知事項▽四時ニュース▽七時ニュース、氣象通報番組豫告、告知事項▽八時人情噺（之淺の財布）柳亭燕三郎▽九時四十分番組豫告

赤鞘安兵衛
講談
東京　桃川燕二演
村田月光畫
（一一八）

萬吉半分聞いて……『あゝ若し安兵衛さん爲事は萬吉にお任せ下さい』

『默れ……拙者にも思惑がござる、今四五年の間は御奉公出來兼ねます、殿樣へ宜しく』

『えゝ何だい安兵衛さん、五百石の方を取逃がして店賃の方はどうするかね、今四五年こんな按排で居られた日には萬吉夜逃げをしなくちやならなくなる』……『控えろ家主、其方が口出しをするところでない、岸田氏今申す次第につき』……『それは殘念千萬、殿樣も定めし御落膽の事と存ずる、餘事ではござるが、碌高にお望みでもある次第ならば御腹藏なく仰せられたく、其邊は又拙者の計らへ方もござるから』……『祿に彼是はないが少し思ひ込みもありますから』……『左樣な譯なら致し方がない、然らば御免を蒙る』……『遠路御苦勞樣』岸田增太夫は歸つて終ふ『安兵衛さんお富どうかしてゐるね、泰平の世の五百石は大したものだ、店賃を拂へない癖に四五年はも聞えて呆れるぢやないか』……『燕雀いづくんぞ大ほうの志しを知らんや家主如きが拙者の胸中を圖るとは不埒千萬』……『俺が不埒だか安兵衛さんが不埒だか、世間の人に聞かせて御覽最う一升はお斷りだ』ブツ／＼と怒つて出て往く、安兵衛は心では何時まで浪々する積りはないが、男子と生れた以上五斗米に腰を折るなら陪臣は嫌だ、祿に拘らず公義の直參になりたいとの希望、萬吉は我が家へ飛込むと『どうだつたね安兵衛さんは』『彼奴はチト氣が變だせ、左京太夫樣から宮野の旦那の緣故もある五百石をもつて召抱へたいと言つて來たのに斷つて終やアがつた』『へエ五百石惜しいものだね、お前さん代りにやつて貰つちやアどうだい』『馬鹿ア云ひねく劍術を知らないで指南役に抱えられる譯はねへ、慾を知らねへは始末に困る』……『賴む』……『へエ何御用』『當家は家主萬吉の住居か』『へえ萬吉は手前で』……『支配下に越後の御浪士で中山安兵衛殿居られるだらう案內を賴む』……『畏まりました』連れて來る……『賴む』……『ドーレ』『手前は松平讚岐守の家來坂田金右衛門、五百石をもつて當家指南役に召抱えたいが、御奉公下さるまいか』……『忝けなうはござるが別に望みある拙者當分は奉公仕りませぬ、殿樣へよろしく』……『扨々殘念至極』と歸る、萬吉家へ上つて一服吸ふと『賴む』『又來たな、えゝ何方で』『家主萬吉は貴樣か中山安兵衛殿御浪宅へ案內を』—『へえ宜しうございます』來ると……『手前は立花左近將監家來石川平兵衛』……劍道師範に三百石にて』『望みあればお斷り申す』『佐樣か殘念』と歸る萬吉『ソラ來た』うるさいの何のぢやアない、此日何人か來た翌日もまた十七八人何も仕事をする事が出來ない、案內に掛り切りだ面倒と思ふから、何うせ斷るなら、此方で斷らう案內をするだけも損だズルイ家主で『賴む賴む』……『へえ何れから』……『拙者は柳澤美濃守の家來島田吉太夫と申す者、其方は家主萬吉であるか』……『如何にも萬吉でございます』……『其方支配下に新發田浪人で此の頃高田の馬場仇討を致した中山安兵衛と仰せられる御人があるであらう、御浪宅へ案內を致せ』—『まことは結構な仰せ身に餘る次第武門の名誉此の上もありませぬが、少しく望みがございまする、御奉公の義は出來兼ねます、御緣があらば其の內に』……『默れ其方を召抱えに參つたのではない中山安兵衛殿に御懇談に來たのだ』

拈華微笑

◇豫想を裏切つて取締り第一日の犬身御供文字通りワン匹

◇地主が承諾してから可否を爭つても遲くない第三小學道路問題

◇有產階級を先に滯納處分、一つはやり良いから

◇差押へ件數去年の倍、天下一の傷ましい統計

◇カレンダーがあつと廿七枚、慌だしい事ではある

○……○

痔の最高內服薬
ダイサン錠
鼻のクスリ
チクノール錠
平町五丁目角
山野邊薬局

內科、小兒科
外科、一般、婦人科
外科、梅毒、淋疾
皮膚病
市原卯太郎
市原陸郎
市原三男
平町田町本通
市原醫院
（入院隨時）
電話一一四番

毛糸
編物夜間御敎へ致シマス
國產優等毛糸　一オンス　十二錢
國產中細毛糸　一オンス　十四錢
國產極細毛糸　一オンス　十九錢
國產霜糸降毛　一オンス　十八錢
一封度（十六オンス）以上ハ御値デ差上マス
編物器具類ナラドンナ品デモハシモトヤデ御間ニ合セ致シマス
平町田町
ハシモトヤ糸店

內科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平五〇七番

ソレ　コレハレイの
正札堂さ
モーダン！
ヨウ　斷然三〇年型だナ
ドコの新調だい
品は豊富で撰見取り取り
時代をリードするこのスタイル

度量衡計量器
吸入用酸素吸入器
酸素
關內薬局
電話四〇番

ご召御男佐美
寶特列陳仙銘秀優
三井呉服店

特約店
平町田町
廣瀬支店
電話五四

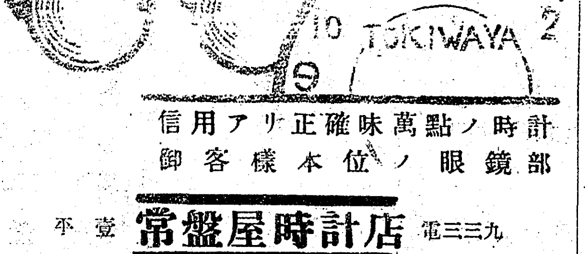
いろ／＼取揃へ大勉強販賣
障子紙　屛風紙　唐紙　壁紙
平町土橋
福麥マルマン商店
電話四八九番

鼻耳咽喉科專門
日本醫大院長醫學士　鈴木正男
歯科口腔外科
日本歯科科長醫學士　鈴木喜政
下谷區入谷町二九一
入谷改正通り東交番前
鈴木醫院

生花教授
池ノ坊流
生花を懇切丁寧に御敎授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

寶特套外生學
酷寒・強雨ニモ耐ヘ生地
型・仕立百パーセントの
黑ラシヤ外套特價提供
中學用（極上）8圓50錢より
小學用（同）5圓50錢より
全部頭巾付
あかや洋服店
平二　電203

內科、婦人科
院長　木村寅次郎
女醫　木村コウ
外科整形外科　醫學士　松永憲一
藥局　東京藥學士　萩原駿二
木村病院
平新川町十九
電話一六四

任擔師醫科眼門專
無料檢眼
無料檢眼券御利用下さい

計時ノ點萬味確正リア用信
部鏡眼ノ位本樣客御
平壹　常盤屋時計店　電三三九

幾ら暗躍した處で 第三案は絶望平
土地收用法適用は痴人の夢 飽迄理論闘争で行く一案派

平町第三小學校の通學道路問題は前町會で青沼野崎兩町議を盟主とする綠川、馬目(武)町議等の尖端的飛躍が功を奏して結局來る町會には第三案の正面道路が、當局に依つて發案される事となつたが前會に土俵際で脊負投げを喰つた第一案派もその第一線に起つ井上、原兩氏等が揃ひも揃つて現町議中理論闘争の第一人者である丈けこのまゝ指を銜へて引つ込むやうな事は斷じて無い筈で目下第一案派第三案派は來る町會を前に死者狂ひの活躍中だが襄に第三案派の頭目から口說きおとされ遂然として從來の持論を弊履の如く抛つた某町議の宙ぶらりんな去就などから來る町會に於ても第三案派が從ちを制する事にした處で之れが實施に就ては飽く迄正義の觀念に强く目下の處挺でも動かぬ氣慨をボしつつある菊地氏の土地買收問題を控えてゐるので假令案議は之れに一決した處で遙かに什う慫うするわけには行かず肝腎の菊地氏が頸を縦に振らざる限り第三小學校の正面道路問題は大体に於いて絶望と觀るより外なく而も仄聞する處によれば第三案派の一味は最後の强制手段たる土地收用法の大だんびらを振り翳して關係地主に臨んだと云ふ如き唾すべき風聞も傳へられてゐるが所謂土地收用の如きは國家若くは公共團体の利益の爲絶對不可避の場合に於いてのみ適用し得る强制手段で該問願の如くその利害得失に就て相當論議されてゐるのみならず襄に之れに代るべき有力な設計案が通過してゐる樣な問題に關しては如何に手段方法を擇はざる巧妙陰險な暗躍を行つた處でその筋が慢然土地收用の擧に出るが如き事想ひも寄らず彼此感情一點張りな第三案の困は結局草疲れ損に終るではないかと觀測さるる節がある

棒の唸りから遁れて ワン公姿を消す
頗る成績不良な 平署の野犬狩り

平署では町役場と共力管內の野犬狂犬撲殺に馬力を掛け宣傳のチラシ、ポスター約五萬枚を各方面に配付する一方今四日は署會議室で講演會を催し或は一頭二十錢で買ひ上げを行ふ外早朝より署員四名役場三名で街頭に進出し野犬の見當り次第片つ端から撲殺すべく奔走してゐるが平町現在の番犬は七十六匹なるに對し野犬と目す可きものが實に五倍近の三百頭以上と見られてゐるが今回の計劃が一度發表されるや飼養主は悉く繋留若しくは返してこの二三隔日街頭に迂路つく一匹の片影すら見當らず撲殺の成績非常に不良で正午まで僅か二匹を見付けたに過ぎず係官も事の案外に驚いてゐる又之を當て込んだ貧困者失業者なども獲ものが一向になく之では到底失業救濟にはならないと失望してゐる始末で買上げの犬は僅か週間第一日早朝の一匹だけであると

消防組表彰
平署から內申

豊間村消防組では鐵骨火ノ見梯子三基建設、赤井消防組は小學校庭を擴張した外赤井駐在所前土地土盛工事に盡力小名濱消防組では二十五馬力自動車喞筒設備、神谷消防組は消防用溜水池を地內十四ヶ所に設置した外火の見二基を何れも消防組員總出動無報酬的に盡力し其の功績顯著なので平署ではこれを表彰する可く今四日縣當局に金馬簾の交附方を內申したと

平少年消防
十日頃發會式

平町に組織された第一小學校高等科生二百餘名からなる少年消防組は來十日頃同校庭で發會式を擧げ模擬演習をする豫定である

關係民の勞力奉仕で 仲間町道路改修
町では砂利を提供

平町仲間町九品寺前九尺道路は平町より幕之內、大室四波、上片寄、鯨岡、中鹽夏井方部と通ずる唯一の連絡道路として夏井川の砂利上げ其他で非常に交通頻繁であるが最近破損の個所を生じ同方部民の迷惑一方でないので平町十七區民始め幕之內方部々落民有志は無報酬で該道路の改修に盡力すべく協議を遂げ佐々木町議、十七區長は本日町役場に出頭工事に要する砂利分與方を願出たので役場でも之れを諒とし必要材料を交附することゝなり明五日から愈々改修工事に着手し關係民の迷惑を取除く筈

撫順炭の移入減で 常磐炭界好轉平
制限擴張決定す

內地の送炭制限擴張に伴ふ撫順炭の內地移入制限に就ては石炭礦業聯合會と滿鐵との間に於いて豫て交渉中であつたが聯合會側の各代表が上京中の仙石滿鐵總裁並に十河滿鐵販賣部長を一昨二日丸ビル內滿鐵出張所に訪問折衝の結果

明年度は本年度の移入豫定高二百十萬噸の八割即ち約百七十萬噸とす

本年十一、十二兩月間は本年度豫定移入高二百十萬噸の月割高の七割八分即ち各月十三萬六千五百噸とす

と移入制限擴張が決定され內地炭の販路に或る種の保險が附せられる結果となつたので從つて常磐炭界にも相當の好響あるものと觀測される因に滿鐵の石炭販賣收入は最近支那炭、ソビエート炭の活躍によつて甚だしき打撃を受けて今年上半期の販賣減五十萬噸に及ぶが最近支那側有力者によつて設立せられたる支那販賣會社惠通公司の目覺しき進出により撫順炭はます／＼壓迫を蒙り下半期は尙は一層不振に陷るものと憂慮されてゐると

差押へ件數が 去年の約二倍

其の時々の世相を最も手に取る如く覗き得る平町執達吏役場の現況を聞くに同所昨年中の差押へ件數は三百二十件であつたのに對し今年は今四日まで約二倍に近い六百十二件と云ふ一足飛びの激增振りを見せてあと二十數日に迫つた年の瀨を前に益々繁昌を極めてゐる

投檢 寄書歡迎

新型三百代言

裁判所控室に行つて見ると、よく三百代言なるものが居る、彼等は用もないのに每日裁判所の役人のやうに裁判所に詰かけ、朝から晚まで鵜の目、鷹の目で無知なむく鳥を探して居るのだ債權を持つものが一度彼等の手にかゝると多額の報酬をせしめられ、假りにその債權が回收になつても手に入るところが多くないと云つた工合になる、又どうにか和解がつきそうになつた事件が彼等の手を介したため再び以前の紛爭に立返つたと云ふ例も屢々あるが、彼等はこうしてい、者は月收百圓にもなつて、堂々(？)たる生活を營んでゐるのだ

不景氣が今日の如く甚しくなると商取引や、土地、家屋の賃貸爭ひや一般貸借の爭ひが多くなつて來る、裁判馴れのしない者がごうすればいゝかと思案顏で裁判所の控室に來ようものなら彼等は寄つてたかつて話し込んで行く、そして區裁判所の事件は裁判所の許可があれば辯護士でなくとも代理人になることが出來るから原告代理人となつたり、被告代理人となつたり、又は事件を和解させたりして無智な者共から甘い汁を吸つてゐるのだ

○

彼等は時によると相手方の實家を訪問して脅迫がましい事もし兼ねないそんな關係から時には辯護士達まで誤解される樣な事になるが彼等は多少裁判所といふものに通じて居るので脫法行爲がなか／＼にうまい、又勿論金談、取引、訴訟、紛議等に關與したり、或ひは訴訟、紛議を誘發、煽動したものは警察犯處罰令で僅かに罰せられる樣になつてゐるが現行刑法ではどうにも出來ないばかりか彼等の活動に都合がよいと云ふものである神聖な裁判所にこの三百代言の許されてゐる事は聖代の恨事で、無智なものゝ爲めに悲しまざるを得ない

（箕輪被害生）

旅籠屋連中
突き面に蜂の態

『石城地方は別天地であらう』と云ふところから各方面から遙々出かけてくる商人らはいづれもこの不況に堪えられず宿屋に籠城の形になりどゞの詰り、言葉巧に三十六計の最後手段に出づるものが近來著しく多く、各旅館でも細心の注意をしてゐるのであるが宿泊人はそれより一枚上の狡猾さで跡白ゝと消えうせるのであつて每夜屆ける各旅館の屆け書に逃走と記される出發屆けがかなりあるとの事である

滯納處分の斷行は 先づ有產階級から
下層階級は救濟方針 平町役場の意嚮？

平町にては過般來町稅滯納者に對して極力滯納處分の斷行中であるが町の方針としては目下極度の財界不況から細民救濟の意味をもつて滯納處分は主として納稅額の多い有產階級を主眼として處分をなし細民ことに失業者等に對しては出來得る限り處分の手をゆるめてゐることになし相當溫和な處分をとつてゐるがこの溫情になれて才割つき乍ら納稅を怠つてゐる向には之亦假借なく處分斷行の方針であると

海軍志願兵募集
石城から百四十五名 來春二月檢查執行

來年度海軍志願兵募集は水兵、掌信、航空、機關、軍樂、船醫、看護、主計の八兵種に分類し郡內より百四十五名を募集してゐるが檢査は來春二月一日から三日間平第一小學校講堂で執行する筈で志願者は檢查期日一週間前迄に所轄町村役場に差し出され度いと

職業紹介所 事務打合會
十五日郡山で

平、福島、若松、郡山の四職業紹介所事務打合會は來る十五日午前十時から郡山市會議事室に於いて開催されるが同打合會に於いて『本縣は東京方面との交渉多く女工紹介の如きは東京事務局の手を經る事が多いので現在の青森地方事務局管下にあるのは不便であるから東京事務局管下に移管』の決議その他が行はれる模様である

歳末の遺し物

內郷村一ノ坪結城賢治は二十八日宮で銘仙女羽織の風呂敷一ケ△內郷村上湯長谷大友賢は同日平町一丁目で黑皮製草煙入一個△澤渡村上市阿部豊造は同日澤渡地內で五十錢銀貨一枚△江名町江名北町鈴木國之助は一日一圓十錢入墓口一個△平町仲間町矢地ツメは同日現金十圓入墓口二個、平町五丁目目黑磯之丞は二日銀の煙管一本△平町新川町藥谷信夫は同日新川町で御大典記念メダル付の銀時計一個平町才槌小路根本貢は三日古新聞の大正琴一個 澤渡村下市菅草野清之助は平町田町で三日現金七十八錢入蟇口一個 平町十五丁目小辛ユキは現金五圓十一錢入の蟇口一個三日で何れも平署に屆出た

一部經驗者の外 中等學校生徒を採用
平局の迎春準備
賀狀百萬を豫想する

平郵便局今年の年賀郵便はその數實に百萬を豫想されその多忙さを見越して今から其の準備に忙殺されてゐるが今年も例年同樣臨時雇を採用する筈でなる可く經驗ある者を標準とし中學生商業生の希望者から採用する方針で日給は七、八十錢から一圓二、三十錢迄で二十二、三名を採用する豫定であると

菊田一圓の 賽錢を叩く

平署で取調べ中

當時住所不定無職秋田縣雄勝郡雄勝村生れ廣川仙吉(㊁)は三日午後四時頃平驛を徘徊中不審のかどで驛前派出所巡查の取調べを受けた結果最近植田、勿來方面に於ける神社佛閣の賽錢を叩き常習犯としてその筋で搜查中の者と判明餘罪も相當あるらしく引續き取課べ中

色は黑いが 煙突屋さん
此頃の繁昌振り

湯の嶽のあたまが白くなつて現下益々不況の聲高い折柄これはちよつと耳よりな味な商賣それはあのまつ黑けな目ばかりギヨロ／＼光らして街中を一軒々々廻つて歩くエントツ掃除屋さんであるのです單價は一定してをらぬやうですが大低一ヶにつき二十錢內外で一日平均十位かちすれば結構生活に不自由することがなくもし獨身者などであれば冬季間の內に相當の貯畜も出來るごのことですしかし不況々々の聲の山彦でごこの街も一杯にふさがつてゐる今日大した生活に餘裕のない家庭ではそれ／＼少々手間取つても自宅掃除をするため例年に比してずつと收入は減少してゐるがそれでも生活には決して困らぬから時節柄一寸味な商賣といふべきであらう

赤井嵐

◇不景氣の回復は花柳界よりの意氣込みで藝者屋のおかみ連が座談會をやつたものだ、商賣柄出席者の女が多いのも當然だが、ソレがいづれも海千山千の古つはものと來てゐるのだから、斷然男子軍をリードした勢ひは物凄かつたそうな、誰なのサイダーなんて、後家のくせに妻だとはコレ如何に、サアそのコップで飮むことよ、と女だてらの深酒に、中には眼を据ゑて『サア何奴でも取つ組みな』◇隱し藝をやらそうと一人の男を半ダースばかりの女でモミクチャにしてゐるのはあれば『ナンだね男のくせに尻込みするなんて』と若い男を追ひ廻はしてゐる年增がある◇ナンセ男を屁とも思はない連中なんばから恐れるよ『そうよアンタより濱口さんの屁の方が偉いのよ』これでは五尺何寸の男子もオヤ／＼

平署扱犯件數

平署 去月中の拘留、科料は計八十八件で警察犯處罰令によるもの三十八件、道路取締法違反十一件、理屋取締違反十三、酌婦取締違反八、自動車取締違反八、其他であると

明日の吉凶

新曆十二月五日 舊曆十月十六日

◆一白の人 世話事は斷はり得らるるだけ斷るが利し 二黑の人 多少の骨折りはありども自然の增收あるべし▲三碧の人 實力をかへりみず過大なる事に手を出せば失敗 四綠の人 獨斷にて事を處する時は失敗目上に諒べし 五黃の人 物事急には運ばざれども未遂ぐる平和の日◆六白の人 投機業を除きての外は何事も進んで吉き日▲七赤の人 守るよりも進むを先きにすべき日旅行は凶◆八白の人 內輪に事なき樣和合を主とすれば吉と成る◆九紫の人 幸運に向ふ日心圓滿なればもつとも早かるべし

平町人事

◇出生 平町六町目五七全羅北道全洲郡全洲面八遠町五〇警察官吏小野寺板雄三男秀雄

內外材木
ストツクノ山 大暴落大安賣
多少不拘御用命願外
木材並ニ製材業建築請負
平町 株式 色川木會社
電話 三四一

◎レコード破りの 石炭大廉賣!!!
（磐城炭礦二等炭）
正味十貫目一俵 金卅錢也
◆品ガ良ク『値ハ安ク』ヲモツトートスル當店ハ此度超破格ノ格安石炭ヲ販賣開始致シマス
◆値ガ安クトモ品ハ惡クハアリマセン
◎磐城炭礦ノ處分的大堀出物デス品物ノ無クナラナイ中ニ御注文下サイ
◎配達ハ一俵ヨリ致シマス
御注文は—電話二三七番—
平驛前 阿部石炭商店

第二回長期裁縫講習會
△科目（裁縫ヲ主ト、希望ニヨリ作法料理法編物生花等無料ニテ教授ス）
△會費（一ケ月金壹圓）
△會場（陽女學校）
△服裝（隨意）
△年齡（制限アリマセン）
△入會（何時デモ入會出來マス）
△特典（講習六ケ月終了者ニハ證書ヲ差上ゲマス）
尙本校內に寄宿の便もあり但し食費一日二十七錢で頗る底廉であります
石城郡平町 平陽女學校

新マツダ斯瓦入電球三割値下
十五ワツト・二十五ワツト 三十錢
四十ワツト・六十ワツト 三十五錢
百ワツト 六十五錢
一個デモ御電話ガアレバ早速御屆ケイタシマス
是非御用命ヲ願マス
特約店 大谷時計病院 電球部 電話十九番

耳、鼻、咽喉科 氣管食道科 專門
平町南町（舊診療所向 電一〇七番）
大和田醫院
自炊の便あり
大和田郡